

市民政党

草の根



http://kusanone-iwakuni.net/ 第 17 号 2016年10月

発行 市民政党「草の根」
 代表 井原 勝 介
 住所 〒740-0017
 山口県岩国市今津町
 4-11-20
 コーポ舂本 1階
 電話 0827-21-9808

失敗している外交



繰り返される核実験とミサイル発射により、朝鮮半島が緊張している。圧力により問題が解決しないことは、もはや明らか。拉致問題も一向に進展せず、外交は完全に失敗している。「北風と太陽」の話のように方法を変える必要がある。北朝鮮を国際社会の一員として受け入れ、その体制を保障することにより安心感が生じれば、自らマントを脱ぎ捨て話し合う契機が生まれる。

しかし、現実逆の方向に進んでいる。昨年の安保法の成立により、仮に近隣で衝突が起これば、集団的自衛権を行使して同盟国アメリカを守るために自衛隊が出て行く道

野党共闘の課題

がすでに開かれている。一歩間違えば、日本が戦争に巻き込まれる危険な状況にあることを肝に銘ずべき。

こうした政治を変える一つの機会とされたのが、7月の参議院選挙。

全国的に野党共闘により候補者が一本化され、市民も応援する形がとられた。

新しい選択肢を

代表 井原 勝 介

一定の成果があったことも事実であるが、一方で限界があることも否定できない。

野党が一緒になっても、そもそも政党に対するイメージが悪く、普通の市民への広がりがあまり見られない。

政策的には、安保法の廃止立憲主義を取り戻すという一点で合意がなされた。

確かに最も大切なテーマであるが、実際の選挙は、それだけでは勝てない。経済や社

選択肢の創造

「与党も好きではないが、会保障など様々な政策を訴える必要があるが、それができない。」

憲法が破壊されるという緊急事態の中で、大きな与党に對抗するための一つの方法であったが、あくまで臨時的なものであり、長期的に連携することは困難である。

信頼できる野党もなく、選択肢がない。

嘆いてばかりいても、仕方ない。

単に抵抗するだけでなく、らともかく、選挙に勝ち最終的には多数をとり、実際に社会を変えることを目指す



若者の政治意識を高めるための政治塾、中学生を対象

草の根塾の開催

とする学習塾(塾)を開催する。
 (詳細は、後日発表予定)

とすれば、既存の政党や団体に頼るのではなく、私たち自ら新しい選択肢を作る必要がある。

目指すべきは、

- ・ 普通の市民が安心して生活できる社会を作ること
- ・ その前提として、草の根の民主主義を大切にすること

理念を共有する市民が自由に参加する政治勢力を作る。

日常的な集会や勉強会などを通じて市民の政治に関する意識を高め、賛同者を増やし、地域の選挙に候補者を擁立し当選させる。地域に幅広い基盤を築くことなくして、選挙に勝つことはできない。

市民政党「草の根」の理念もまさにここにあり、着実に活動しているが、こうした市民の政治的な動きが各地に起こることを期待したい。



県議 井原すがこ

県民に身近な政治を

ていたらいずれ近い将来、県の財政は行き詰ってしまいます。そのしわ寄せは県内の

9月議会は10月7日に終わりました。今議会は約128億円の補正予算など17の議案が提案されました。

私は一般質問で、山口県が8月に上関原発の埋め立て延長を許可したこと、米軍基地関連、高校の改編などについて質問しました。

山口県の財政状況（県債残高は

1兆3千億円）を憂いながら当初予算や補正予算の数字を見ると、アベノミクスが浸透せず景気回復とは程遠い山口県において、どうしてこんな大盤振る舞いができるのだろうかと思えます。基金（貯金）もほとんどない状態で、こんな予算編成をし

の市町の施策にも大きく影響してきます。

借金に頼るのではなく現実を見据えた施策をしていかなければなりません。

関門海峡にもう一本橋を架けるための調査をしたり、海外にはかり目を向けるのではなく、もっと県民に身近な政治をしてほしいと思います。

草の根議員レポート

質問時間の短縮

災害が発生しています。沖縄県の翁長知事が講演で「戦争や災害のような非常は、ある日突然にやってくる。日常の暮らしを守るものが政治だ」と言われた事を思い出します。岩国市

この間、

経ちます。2年が

え、防災・減災に取り組まなければいけません。私は岩国市議として、10月

で2年が経ちます。この間、

市議 広中ひであき



今年、熊本での地震や北日本には何度も台風が上陸し大変な

すべての議会で登壇しました。今回から質問時間が60分から40分に短縮され、予定質問の3分の1をカットしました。

いではないの

費を注ぎ込ん

だるうか。市

費を注ぎ込ん

だるうか。市

費を注ぎ込ん

だるうか。市

費を注ぎ込ん

言論の府としての責任

9月議会と12月議会、試験的に代表質問は従来通り1時間、一般質問は60分を40分に短縮し、来年3月議会で検証することが決まった。大方の議員は、賛成のようだ。

市議 重岡邦昭



皆さんの抱えてい

治信条を最も表現できるのが一般質問である。

市民のための議会、議員自ら議員としての特権を放棄し議会の権威を損ね、市民の負託に応えようとしない「なれあい議会」に抗議する。

実感した。1時間、言論の府として、その自由を議長であれ止めることはできない。その権限を放棄しようとしている。議会運営の形を変えることで、誰が乗をし、だれが損失を受けるのか、言うまでもなく、前者が議員で、後者は市民である。

ANA岩国・那覇線運航終了 民間企業への公費投入の責任は



企画段階の見通しの間違

3月27日に一日一往復で運航を開始した岩国・那覇線が、10月29日で終了する。何時かこうなるだろうと感じていた多くの市民も、あまりに早い終了に驚いている。開通後の搭乗率は毎月低下し、30%半ばとなっている。これは目標とした搭乗率の半分という低さである。

明確にする必要がある。一企業に多額の公金支援を行うことに、議会としてどの程度のチェックを行ったのか、行政監視機能の欠如も強く反省してほしい。

岩国基地の際限のない機能強化



写真は配備される戦闘機

来年に迫る空母艦載機の横須賀からの移駐、市は受け入れの表明はしていないと豪語するが、進んでいる諸施設の建設状況を考慮すると、今になって「受け入れお断り」という選択肢があるのだろうか。さらに最新鋭戦闘機がやって来る。

最新鋭戦闘機

F35Bの配備を憂慮

機能強化の内容

- (1) 2017年 空母艦載機59機の移駐。人員約4千増加。
- (2) 8月22日、国から次の通り、国内初の最新鋭F-35Bステルス戦闘機の配備について通告があった。
- ① 2017年1月・10機 (F/A18 ホーネット12機の代替)
- ② 8月・6機 (AV8B ハリアー8機の代替)
- ③ 隊員・家族 新たに460人が移入、330人が転出。
- ④ 新たな部隊の配備ではなく機種変更とされ、米軍再編交付金の対象にならない。

機体の安全は米政府の確認

岩国市は山口県と一緒に、騒音や安全性などに関する17項目の文書照会を行い、9月23日に国からの回答があった。その主な内容は、次の通り。

(1) 役割や任務について

高度な能力を有するF-35Bが配備されることは、日米同盟の抑止力を強化し、日本及びアジア太平洋地域の安全に寄与する。

(2) 騒音について (騒音予測コンターが提示される)

現在のAV8Bハリアーの騒音と比較すると、離陸時はF-35Bの方が約9デシベル大きく、着陸時は約8デシベル小さくなる。離陸後、海側

に旋回するので、市街地への影響は少ない。

(3) 安全性について

F-35Bは、アメリカ政府がその安全性・信頼性を確認した上で、量産が開始されたものと承知している。

回答は米軍情報の鵜呑

F-35Bは、日本で一度も飛行したことがなく、実際の騒音を確認するために、試験飛行を求めるべきである。

F-35Bは、沖縄で墜落したハリアーと同じ垂直離着陸機であり、安全性についてはアメリカ側の言うことを鵜呑みにするのはなく、十分な情報提供を求めるべき。

この回答をもとに、岩国市と山口県の対応方針が示されることになるが、これまでお金と引き換えに基地の機能強

化を認めてきた以上、今回の配備に反対する選択肢は残されていないのではないかと。今後の協議の状況を注視する必要がある。

米海軍の情報

2021〜26年頃には、安全性に疑問のあるあのオスプレイも岩国に配備される予定。空母艦載機として運用されるとのこと。

F-35B

岩国基地に配備されるのは最新鋭のステルス戦闘機で、短距離離陸・垂直離着陸型です。空母上空へ飛来、ホバリングし位置を決めて着艦する。米国ではステルスのためのコーティング(塗装)は毒性が強く、事故の時に住民への影響を心配し、配備反対の運動がバードモント州で起きている。岩国基地は住宅地に接近、問題は無いのだろうか。

芸文

ばら色のワンタッチ傘広ぐれば前へ前へと春めく小道
花すぎし桜の隣さみどりは若き娘のごとく燃えいる

金光 秋子
佐山 久子



市民政党 草の根 事務局

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。

今年度（1月～12月）の党費の納入は、以下の要領でご協力よろしくお願いいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党員 千円
特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

ちよこっと



政治資金規正法によると、「政党」とは、所属国会議員が5人以上、又は国政選挙における全国の得票率が2%以上の政治団体とされており、これに該当しない場合には、「その他の政治団体」と呼ばれる。

自民党や民進党などは、文字どおり「政党」であるが、

政党

市民政党「草の根」は、「政党」という名称を使っているが、前述の分類によれば「その他の政治団体」になる。「政党」の内、国会議員が1人以上のものには、政党交付金が支給される。

その額は、国会議員数と得票数によって決まる。ちなみに、今年度の交付額は、自民党・約174億円、民進党・約93億円など、総額約319億円になる。

「草の根」コラム

野球に限らず、自治体のあり方も同じだ。国からの要請は「まず受ける」姿勢から始まっている。続いていくら交付金や助成金が得られるかで交渉が進む。岩国の現状を見ているとそう思わざるを得ない▲これでは地域を知り、地域

基地と錦帯橋だけ

民全体にむけることが必要だ。特定の団体や組織に気兼ねせず、国にも県にも進言してほしい。国や県のメッセンジャーであってはならない▲関東の知人が「岩国は米軍基地と錦帯橋だけか」という。市民力を強く発信しないと錦帯橋も忘れられる。

ある▲自治体の活力を生み出すためには、市政の目線を一般市民

広島東洋カープが25年ぶりのリーグ優勝を果たし、岩国も広島に劣らぬくらい興奮に沸いている。この経済的効果は地域の活性化に大きく寄与するだろう。そこには優勝に向けたひたむきな球団の努力があった。ファンの支援も大きな力になった

▲こうし た現象は

の力を醸し出し、地域が長く豊かに存続することを考え出す力は絶対に育たない。その結果はいつまでも国の言いなり、国におんぶされる自治体にしかならない。議会も同じである▲野球ファンを市民に置き換えるば、市民を喜ばせるのがいい市政である

草の根農園での月一回の作業、その前日に私は、周囲の草刈りをしておくのですが、ある日今回は自分が草を刈ると殊勝なことを言った主人。



かつすけワラジ

作業着に軍手、長靴といでたちは整っていたものの、農園に着いて草刈り機を持って来るのを忘れたことに気づいた主人から携帯に連絡が。



すぐに草刈り機を車に積んで駆けつけることに。こんなことなら最初から私が刈ればよかったです。

(すがこ記)

市民政党「草の根」のネット案内

- ・フェイスブック（市民政党「草の根」）
<https://www.facebook.com/vep00350>
- ・草の根ホームページ
<http://kusanone-iwakuni.net/>
- ・井原勝介ブログ（草と風のノート）
<http://ihara-k.cocolog-nifty.com/blog/>
- ・井原すがこブログ（井原すがこの想い）
<http://blog.goo.ne.jp/sugako31>
- ・井原すがこ後援会ホームページ
<http://www1a.biglobe.ne.jp/sugako31/>

